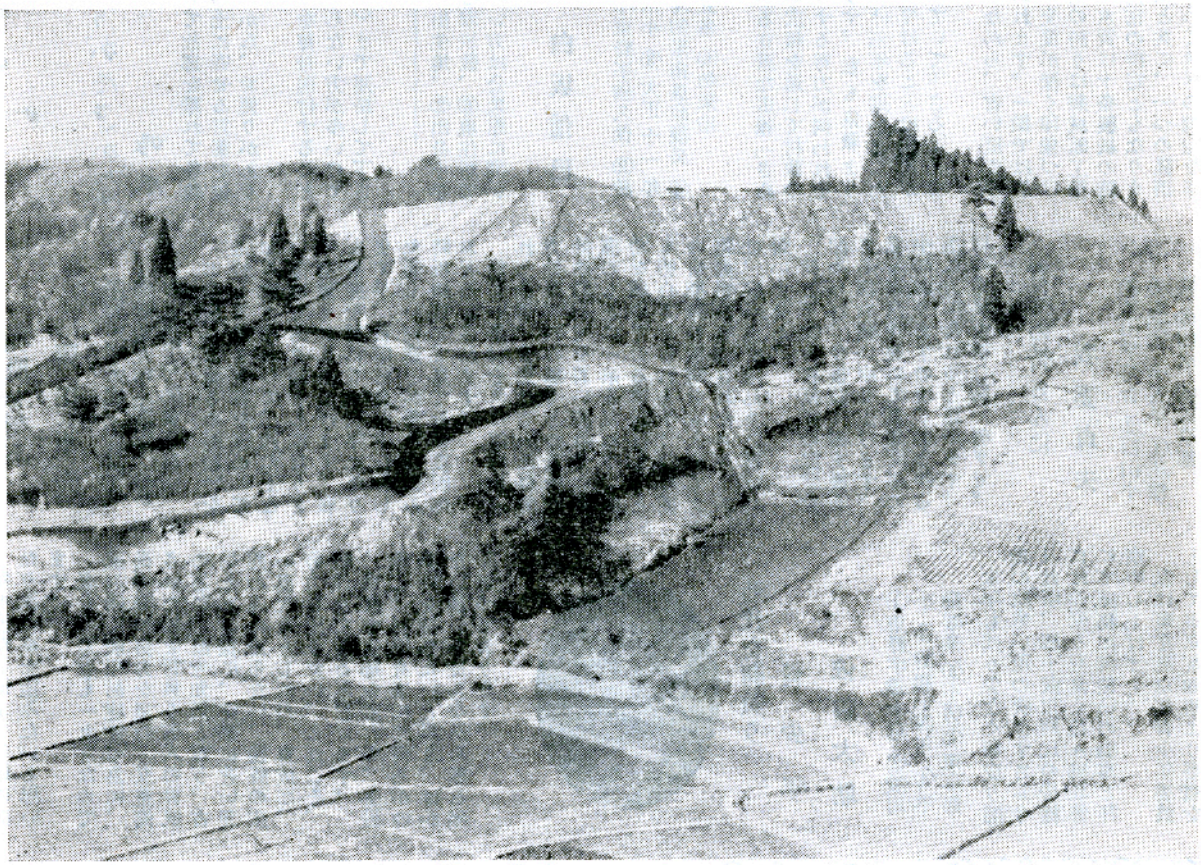
広報
さめがわ

第122号
昭和39年
1月5日発行

編集兼発行
鮫川村役場
鮫川村公民館
塙町　佐藤印刷所



むかしは、村の広いのと、道路のわるいので有名だつた鮫川村。
今は町村合併が進んで、隣接の町村が大きくなり、鮫川村は小さい方の村になつた。しかし道路は次第によくなり、各種建設事業は、大町村にくらべても劣らない。
村としては県下随一の村民運動場が、今まさに完成されようとしている。

建設すすむ——鮫川村

新年おめでとうございます

新しい年の始に、今年もまた、幸多き年でありますようお祈りいたします。
新正月実施運動も、どうやら軌道にのつた感じで、各町村も、職域も、足なみがそろつたようです。
みんなでたのしい、明るいお正月にいたしましょう。
災害は忘れたころにくる——とも考えて、新しい年の営農設計をたてましょう。
今年から各学校の新年祝賀式は廃止され、村と公民館で共催する新年祝賀会が開かれます。
村内の皆さんが、年の始に相会して、新年のよろこびを交換するのも、新しい生活様式として、意義ある催しといえましょう。

12月の人口と世帯

人口	7.821	(－4)
男	3.870	(－2)
女	3.951	(－12)
世帯数	1.238	(－1)

郷土に寄せる出身者の便り

ふるさとの山に向いて
言ふことなし
ふるさとの山は、ありがたきかな
啄木

このたび新年号の特集として故郷を離れて各地で活躍されている方々に、郷土に寄せる言葉を依頼しましたところ多数の方々から、お便りがありましたので次に掲載します。

編集部では村出身者に広報を毎号送付することになりましたが、住所の分らない方が多いので家族の方から公民館（鈴木）まで連絡して下さい。

文中氏名の次の数字は①が出生地、②出身小学校、③同卒業年、④職業、⑤家族数、⑥現住所です。現住所をくわしく知りたい方は公民館に問いあわせて下さい。



白坂信巳

①東野字楢久保 ②鮫川小 ③大正十一年 ④勿来市農政課長 ⑤五名 ⑥勿来市

今度村政が一目で理解できる立派な広報「さめがわ」御恵贈いただき、この広報を通じて村政の在り方を村民に周知しようとする努力が伺われそのセンスに深く敬意を表します。私も県職より赤津勿来市長に招かれて足掛け三年を迎いました勿来市に勤めて見て印象を受けることは市民が等しく郷土鮫川村をよく知つていて下さることです。

鮫川の水の連りもさることながら、古い歴史の上での文化の交流からと思われます。一面では戦争中の豊かな得がたい物資の交流が深く印象づけたものかも知れません。郷土の誇りは磐城鉱工業発展の水源地です。清らかな水質は十条製紙の誘致となり、大きくは新産業都市の指定ともなりました。勿来渡瀬浅川線の整備と共に、一つの経済圏です。相互の産業交流によつて共同の利益を享受せねばなりません。

我が村の発展を祈る

藤田末光

①西野字本坂 ②西野小 ③昭和九年 ④陸上自衛官 ⑤四名 ⑥東京都

この度「広報さめがわ」を送付して載き故郷を後にしておる我々にとって、此の上ない慰めであり励ましになります有難くお礼申上げます。私も故郷を離れて十三年になりますが、石田村長を中心とした新しい村造りが着々と進み時折帰郷して見てその変貌におどろかされます。

新しい農村それは機械化された農耕、合理化された経営方針等、村の環境と特産物の効律的利用を若い技術者の指導のもとに一糸みだれづ、成功を納めておる実状はもつとも感心させられます。此の度の自衛隊の援助をもとめて大運動場が完成されたニュースは、我が意を得たりと喜びに耐いません。

何とぞ我々自衛隊の認識を深められ、今後益々御支援下さる様お願い申し上げます。私も東京地連にて募集関係の中におりますので、あらゆる事に力になれると思います。村の発展を祈り御一報まで。

青年の皆さんに

我妻貞夫

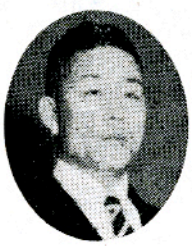
①西山字落合 ②西山小 ③昭和二十五年 ④運輸業 ⑤四名 ⑥東京都

鮫川村の皆様方、御目出度う御座います。

私も遙なる地より年頭にあたり次の事を望みたいと思います。

老も、若きも一丸となつて進みゆく鮫川村建設の為に、尚一層の努力を望む。又整備された村を背負う若人の育成の為に、温故知新と言う、古句もある様に、空想に近い理想のみに走らない、視野の広い現代人としての、育成に、努力を望みたい。これこそ、村作りであると思います。

私共も故郷を離れて、生活をし、村出身者にて何らかの集いを持ちたいと思う、はかない願いを持ちながら来る年を送つております。



時代を荷負う青少年

佐藤大助

①東野字遠ヶ竜 ②鮫川小 ③昭和十四年 ④不動産業 ⑤不明 ⑥東京都

本年も残り少なく相成り師走の肌寒い風の吹きすさぶ今日此頃、郷土鮫川村民の皆様にはお変りも無く益々御壮健にて業務に御精励の御事と拝察申し上げます。

私は現在東京都青少年委員として東京都知事より委嘱を受け警視庁からの委嘱で少年補導員として常に青少年問題に微力を尽して参つて居ります。

我が郷土から上京して居る青少年の皆様方の中で職場や学校等その他の点で悩み事などありましたならば、この広報「さめがわ」を持つてお出下さい。

兄代り父代りの出来る限りの良き相談相手として骨身を惜しまず与えられた使命を全うして参りたいと思います。本日広報をお送り戴きまして故郷のニュースや皆様方の御活躍の様子を知り懐しき余りに駄文を綴りましたが、最後に郷土の皆様、寒さ一段と厳しくなる折柄充分御自愛の上御元気で越年され、こよなき新春をお迎え下さいます様、玆に去る年の御愛顧に深謝すると共に来る年も尚一層の御指導御鞭撻の程を伏して懇願致しまして、年末年始の御挨拶にかえさせて戴きます。



ふるさとに寄せて

小林政江

①東野字山口 ②鮫川小 ③昭和十九年 ④日紡労組組織部長 ⑤なし ⑥大阪市

自分が健康で生活や環境が順調な時には、身近かな人や古里のことなど意識はしないでいても、ひとたび病床に伏したり、失意のどん底におちたり、あるいは仕事がうまくいかない時、ふと心はいつか古里にとぶものです。古里とは、かわらぬ母の愛のようなものであると思います。古里の細い山道で、野良着姿の、草籠や薪などを背負つた、みるからに健康的な農村女性が体を横向きにさせて見知らぬ人に道をゆずる床しさに接するとき、都会の生活がしみこんでいる私の心に感動が走ります。こうした自然な床しさを私は、工場で働らく人たちの生活の中にもとりいれたいと思つています。

望郷ひとこと

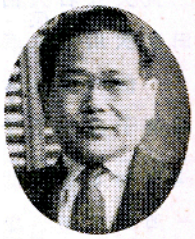
鈴木伝

①中野字新宿 ②鮫川小 ③大正十年 ④なし ⑤三名 ⑥水戸市

印象離れ難いもの、村社々頭の翁松、旧校舎跡の枝垂桜、鮫川の清流に渡つての魚漁り等々一木一草故郷は懐しいもの。小生若くして郷土を後にし転々只今は水戸の住人、幼き頃の村は県下の優良村と聞く。当時の記憶に残る三村長鈴木源之助、蛭田栄之助、須藤千代之助の諸先賢追想すれば一苦……

現石田村長、識見高邁村民と親しむ名村長と聞く。幸甚「さめがわ」

御恵送に預り村政一般等拝見し得まして全々当時とは隔世の感にうたれました。



ふるさとの皆さんへ

水野俊夫

①西山字宝木 ②西野小 ③大正十年 ④医師医学博士 ⑤六名 ⑥東京都

煙霧と騒音の中にあわただしい年の瀬を迎えているところへ、広報「さめがわ」が届けられました。開いて見ているうちに、写真の中や活字の間から、ふるさとの味やかおりがほのぼのとした詩情をかきたててくれました。このような心あたたまる企画をして下さった方々に心から敬意を表します。

私も東京へ出てから早くも四十年になりますが、ふりかえると世相の変化と同じように身上にも多くの変転がありました。それでも私なりの処世の信念として、わが敬慕する野口英世の「忍耐」の訓えを心の支えとして守ってまいりました。福沢諭吉は「一職一貫」で一生を貫く者は人世最大の幸福者であるといわれたが、私も漸くその意義を理解することのできる年齢となりました。

ふるさとの山に向いて

大石静子（旧姓 森）

①東野字楢久保 ②鮫川小 ③昭和二十二年 ④主婦 ⑤四名 ⑥福島市

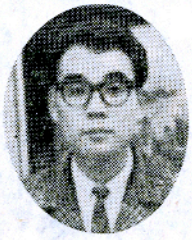
石川啄木の歌に「ふるさとの山に向いていうことなし、ふるさとの山はありがたきかな」というのがある。この歌がすきで盛岡をたずねた時に求めて来た染めぬきの壁かけが今でも居間の片すみにかけてある。

生れて二十年、私にとってこの期間に得たものが私の一生を支えるであろうし、その思い出は、生ある限り心の中に生き続けるものと思う。

鮫川分校を卒えるまでの期間と、そして青生野中学校につとめた一年余の村での生活は私をどれほど錬え育んでくれたか——冒頭の歌の心をかみしめてみるのである。

村を去って八年、そのふるさとの村がどんな姿で変りつつあるか仕事の関係で耳にする村のうごきに大きな期待をよせる一人であった。

新玉の年に一層の発展としあわせをねがう。



鮫川ッ子

中井恒雄

①東野字広畑 ②鮫川小 ③昭和二十六年 ④福島テレビ事務員 ⑤三名 ⑥福島市



心のふるさと

生田目スギ子

①西山字大久保 ②西山小 ③昭和二十二年 ④助産婦 ⑤なし ⑥仙台市

緑遙かに山脈の
起きふす所、水清くと、口ずさんでから早くも十数年、長い歳月の流れと共にこの歌も今では懐しい故郷の歌に変つてしまいました。

故郷を離れて十年あまり、幾多の苦難にも負けずにここまで歩む事の出来たのも常に心の中に慰めてくれた故郷があつたからだとも云えましょう中学、高校と通つたあの強滝の道、何につけても励ましてくれたあの滝の音、今も誰れかを同じく励ましてくれている事でしょう。故郷は遠くにありて思うばかりでなく我が生れた地は例え辺鄙でも永遠に自分の心の存在する場所であります。あの時植いた杉の苗も大きくなつた事でしようね、日進月歩と共に伸び行く村を仰ぎつつ私の心の故郷も永遠に失うことはないでありましょう。

故郷に寄せて

松本利雄

①富田字二反田 ②鮫小 ③昭和十九年 ④県農試技師 ⑤四名 ⑥会津坂下町

郷里さめがわを後にして、もう十六年の歳月が流れました。阿武隈山系南部である高原地を、顧りみれば、山岳連なり耕地面積にとぼしい、わが郷里が思い浮びます。こうしたところにある郷土も今は産業の振興、教育の施設の充実、道路舗装等村民の福祉増進のための各般の施策は着々その成果が挙げられ、県下にほこる村民運動場など郷土の繁栄ぶりが、目に見えます。これ一重に関係者はもちろんのこと郷土の皆様方の新しい村づくりについて深い理解と積極的な協力の表れであることは申すまでもありません。今後も一段と国の政策と歩調を合せ郷土の繁栄を飛躍的に伸展させて、行かれることを念願しております。

おわりに郷里の皆々様方の御健康をお祈りいたします。

——〇——

東京都で農林省に勤務していられる東野字戸草出身の本郷喜三郎さんが、入院のため原稿を寄せられない旨の連絡がありました。一日も早く健康を回復されることを祈ります。

この他にも原稿を依頼した方がありましたが期日までに間にあわなかつた方の分は次号に紹介します。掲載順序は編集の都合で不同ですので悪しからず御諒承下さい。

（鈴木 一）

危険です

最近電線路に対する感電事故が多いので次の事項を守って下さい。

1. 電柱にのぼらないこと。
2. 電線路の近くで凧をあげないこと。
3. がいしに石などを投げないこと。
4. 電線路附近の木を伐る時は当社鮫川出張所に連絡すること。（係員を立会させる）
5. 電線附近に棒など長いものを近づかせないこと。
6. 電線に樹木が接触するおそれがあるとき、又は接触しているときは近寄らずに鮫川出張所に連絡すること（東北電力株式会社）

おめでた

十一月
一六日 鍛治平 根本 貞男
二一日 彦次郎 赤坂 峰子
二三日 大久保 生田目加代子
二五日 鐘撞堂 鈴木 和浩
二六日 越 虫野内 旭
十二月
一日 芦ノ草 矢吹 恵美子
四日 官沢 矢吹 としえ
四日 大石草 鈴木 朱美
四日 木之根 赤坂 浩幸
一一日 関口 藤田 工
一七日 青生野 大森 敏雄

おくやみ

十二月
二日 木之根 4 遠藤 信夫
一〇日 摺合 76 芳賀 海源
一四日 後田中 71 大竹 鼎
一七日 藪 81 星 ミヨ
二二日 押野 45 緑川 浅代



一家みんなが
気をつける

―― 入学おめでとう ――

（昭和39年度入学者名簿）



四月四日に村内の各小学校に入学されるお子さんをお知らせします。この名簿は十二月一日現在で住民登録票により調べたものですが、洩れている方がありましたら教育委員会事務局（関信子）に連絡して下さい。
カッコ内は保護者名です。

西野小学校

石井はつえ（隆男）
白坂スミ子（助雄）
久保木良子（悦夫）
石井清一（清市郎）
緑川一良（ミイ）
矢吹信子（初太郎）
矢吹清（喜太郎）
上田浩（佳一）
植村満（実）
芳賀登志子（四郎）
高坂美恵子（正光）
鈴木典子（好美）
高坂いつ（義光）
鈴木文夫（清）
関根京子（正一）
佐藤敬子（竜雄）
舟木啓宣（フヨ）
舟木玉江（武夫）
矢吹敦子（弘）
舟木和子（義平）
藤田甲子夫（一夫）
（計 二十一名）

西山小学校

生田目邦一（保男）
鈴木しげ子（一実）
矢吹洋子（広信）

鮫川小学校

矢吹ヨシ子（正）
本郷よね子（市次）
緑川友子（友安）
高木フク子（ヨシ）
藤田考子（俊次）
関根春子（ソルヨ）
松本美佐子（定吉）
阿久津ミチ子（フミ）
阿久津孝（好也）
坂本好美（美喜）
根本孝一（弘）
須藤忠子（芳一）
松崎豊子（甲子男）
本郷栄（栄治）
松本良春（庄市）
関根吉次（肇）
関根一則（一兄）
関根敏雄（忠雄）
石井隆（正見）
関根政（次男）
大竹欽也（茂）
関根久（仁）
国井百合子（勝吉）
須藤リツ子（寅男）
関根幸雄（通）
関根三枝子（敏夫）
高野重男（佳）
根本栄（勇）
（計 三十一名）

菅野寿江（寿雄）
大河内由夫（平）
湯座美枝子（吉夫）
矢吹幸江（博）
水野裕子（芳光）
山本ヨシイ（勝治）
矢吹喜四重（一男）
水野忠徳（昭也）
矢吹友美（啓）
岡部登世子（千代喜）
金沢英子（利雄）
矢吹里子（文子）
窪木優子（市郎）
渡部友子（寅蔵）
円谷きぬい（豊ツヤ子）
矢吹啓美（一）
鈴木良一（禧穂）
遠藤豊（稲穂）
円谷義一（由郎）
蛭田康正（武夫）
長久保メイ子（久義）
白井弘美（ミチ子）
西島将（康）
舟木光三（忠光）
鈴木一二（辰弥）
岡部英世（豊）
溝井吉子（末吉）
諸橋光子（金作）
松崎美枝子（昭義）
大崎百合子（政友）
山本幸子（昇）
芳賀富枝（武）
三瓶アヤ子（寛）
柿沼一（源三）
田中幸子（義明）
芳賀隆子（清）
鈴木文江（保）
佐川恵美子（一美）
森田美子（一一）
吉田芳一（芳光）
森田良一（守）
佐川キイ（政治）
蛭田実（四一）
高木京子（長雄）
高木恒代（好勝）
小滝慎一（健一）
緑川洋二（栄寿）
鈴木正夫（市悠）
大河内健夫（光男）
近藤弘子（保典）
矢吹真智子（桝男）
鈴木あや子（一利）
矢吹幸一郎（幸男）
鈴木良寛（千代之助）
佐藤美知幸（幸一）

富田小学校

前田正敏（正則）
緑川治美（正美）
前田ミサ子（甲子男）
前田米子（豊太）
佐久間日出夫（貞男）
玉木武（幸次郎）
中川西義光（敬吉）
中川西チイ子（安正）
中川西吉男（吉正）
中川西洋子（健治）
中川西典子（一郎）
中川西京子（金之助）
長久保茂男（佐多男）
蛭田和子（東）
岡部康弘（康嘉）
青戸栄作（芳夫）
（計 七十二名）
青戸悦男（敏哉）
青戸仁子（彦磨）
大平文子（大平）
宗田とも子（修一）
国島朱美（郁男）
松本義郎（一郎）
我妻和代（清一）
岡部智夫（義恵）
緑川和子（義春）
栗原英一（一郎）
栗原紀恵子（元巳）
小池和夫（福代）
鈴木せい子（利男）
矢吹美佐子（富治）
（計 十四名）

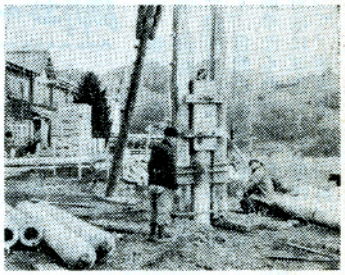
渡瀬小学校

山形静子（元）
山形哲夫（孝子）
山形ミキ子（貞男）
蛭田寿子（晃）
蛭田三智子（浩市）
木之内満男（弘次）

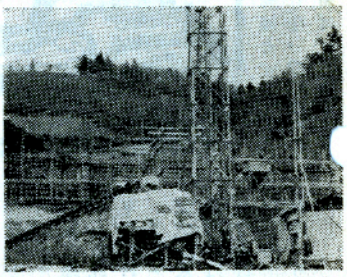
大平洋文（安明）
下重レイ子（兼市）
高久良美（和雄）
青砥武彦（貞巳）
蛭田公司（一三）
蛭田栄子（政光）
小宅百合子（恒夫）
鈴木チイ子（信義）
芳賀四郎文雄（文雄）
芳賀光江（健蔵）
藤田好江（定男）
蛭田百合子（義一）
菊地睦美（英次）
生田目昭男（常雄）
藤田利博（シゲノ）
小林シゲ子（一男）
菊地長次（晴光）
山形美弘（武雄）
本多肋蔵（栄之助）
佐藤季安（勇）
白石ウメ子（重男）
森田秀男（一雄）
平久江民枝（四郎）
森田チヨ子（春）
岡部勝美（貞雄）
長久保英子（一進）
新妻義美（貞夫）
岡部照子（伝）
長井悦子（進一）
中島あや子（三次）
森田友子（森嗣）
新藤ユミ子（進）
笹県兼光（留吉）
藤田文江（文治）
（計 十八名）

青生野小学校

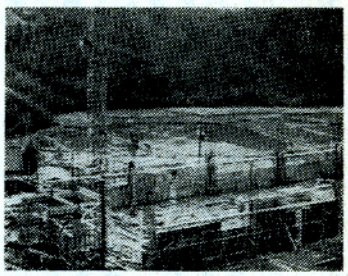
大森夫美子（共衛）
遠藤キヨ子（慎一郎）
高久幸男（友義）
木之内澄似（一夫）
石井悦子（忠男）
藤田幸男（義雄）
（計 二十八名）



この年度の一番大きい建設事業、鮫川中学校屋内運動場の建築工事は、いま懸命に進められている。



コンクリート・パイルが基礎杭として、打ち込まれ、その上に堅固な基礎コンクリートが打たれた。



鉄筋コンクーリト構造の屋体は東白川郡内では初めて。これで郡内第一の施設が、また一つふえます。

国有林解放——一歩前進

村長　石田卯子八



昭和三十九年の新春を迎え今年もまた皆様のうえにいよいよ幸多き年でありますことをお祈りいたします

昨年の稲作では何彼と苦労が多かつたが、今年は十分警戒を怠らず、安全稲作の方針を進めたいものであります。

かねて計画を練られてきた農業構造改善事業も、今年から実施期に入るものと考えられます。

実施地区はパイロット的な役割を果すことになりますから、一層の結束と御精進をお願いするとともに、地区を超える事業や、それぞれの計画で、全村のかたがたの気合いのかかつた実施を期待して止みません。

去る十二月十八日に、国有林解放の全国大会が東京で開かれ、私も出席させてもらいました。

タスキがけで大いに気勢をあげ、衆参両院に陳情をかけました。ねらいは国有林解放の特別立法を促進するということであります。

わが村の国有林解放は、特別立法以前の問題として、現行法のワク内で、必要面積の利用を実現しようとするところに特異性があります。種々困難はありましたが、ようやく見通しが明るくなつてきた感があります。

草地造成のための牧野適地と集団桑園適地と合せて一〇〇余町歩は、遠からず解放所属替が決定を見るものと信じております。

また放牧共用林としての貸付要請も、それぞれ手続きを進めておりますから、実施計画の承認も何れ行われることでありましよう。

農業構造改善事業の一般指定地区としては、本村が初めてのケースになるので、国側も慎重であるわけです。

全国大会の陳情が終つたところで、民報主催の県東京事務所における座談会にも出席しました。

堀本全国農業会議会長、八田、亀岡両代議士、佐川県議会議長というお偉方の中へ、私も参加することになつたのは、国有林の問題で切実に悩んでいる山村の代表という意味であつたと思います。

特別立法もちろん必要であり、林業基本法もちろん歓迎するところですが、山村民自らのものになる国有林解放の重点がボケないよう切に念願して止みません。

優良団体として表彰さる

鮫川村防犯協会

防犯思想の普及、防犯体制の強化、地域防犯活動の推進などによつて犯罪の予防、少年非行の防止などに功績があつた優良防犯団体として県内で二十三団体が表彰されますが郡内では本村の防犯協会だけが次のような感謝状をもらいました。村民各位の御協力を感謝いたします。

感　謝　状

鮫川村防犯協会殿

貴会は結成以来力を合わせ諸般の防犯活動を活発に行なうとともに積極的に警察活動に協力された功績はまことに顕著であります　ここにその業績をたたえ金一封を贈り感謝の意を表します

昭和38年11月25日

福島県警察本部長警視長　白岩　晃
福島県防犯協会長　佐藤　実

（ね）（ん）（き）（ん）

一月は国民年金保険料第3期の納期ですからお忘れなく期間内に納めて下さい又第1・2期分の末納になつている方は是非この際完納して下さるようお願いします。

去る十二月五日福島市において国民年金大会が開かれ、その席上で社会保険庁長官より鮫川村が表彰されました。又西山区が優良納付組織として県知事より表彰されました

年金保険料は前納もできます。

収入の時期が固定していない人などのために、一定期間の前納制度があります。前納額は保険料額から一定期間の利子を割引した額を納めればよいことになつています。たとえば二〇才の前納額は一年間では通常一、二〇〇円納めるところを一、一七〇円、五年間では通常六、〇〇〇円納めるところを五、二八〇円全期間では通常六六、三〇〇円納めるところを二三、五四〇円でよいことになります。もしも全期間分二三、五四〇円前納すると、六五才になつて毎年四二、〇〇〇円の年金が受けられます。

（住民課）

納税だより

明けましておめでとうございます

昨年は稲作の減収にもかかわらず、納税につきましては皆様の御理解と御協力によりまして、よい納入成績をおさめられたことを厚く御礼申上げます。

新年にあたり皆様の御多幸と御健康をお祈り申上げますと共に、本年も納税完納に御協力下さいますよう何卒よろしくお願い申上げます。

税務課職員一同

告知版

母子寮と愛生園を慰問

婦人会ではクリスマスを前にした二十三日に棚倉町と塙町の母子寮、愛生園の三ケ所を訪問し、村内一戸あたり十円づつ募金した金を二千円宛おくりました。残金の一千余円は村内の恵まれぬ子供たちにお年玉をおくります。

各分会で募金した額は次のとおりです。

西野…九二〇円、西山…一千五百円、中野…一千二百二十円、東石…一千四百七十円、富田…五百八十円、渡瀬…九百円、青生野…五百円、計七千九十円。

ご婦人方に 耕耘機の講習会

農業の機械化にともない耕耘機の普及率はめざましいものがあり、ご婦人が運転している姿もみうけられるようになりました。

然し試験を通らないと運転できませんので主人がいないときは遊ばせておくようなことになり、婦人の皆さんから講習会を開いて欲しいとの要望がありましたので、公民館と婦人会の共催で二月上旬ごろ、約三日間にわたり開きますから希望者は公民館事務局（鈴木）か、各婦人会分会長さんに、住所、氏名、年令を書きそえて一月二十五日までに申しこんで下さい。

詳しい日程は申込者に直接通知します。

西野、西山小の給食婦さんきまる

新年から完全給食が予定されている両校の給食婦に、斉藤あきいさん（西野）小林よし子さん（西山）の両名がこのたび採用されました。

図書の紹介

村公民館の図書室に次の図書が新しく入りました。この書のほかにも多くの小説や参考書がありますから、お正月を読書で楽しんで下さい。

貸出期間は10日以内で貸出料は無料です。

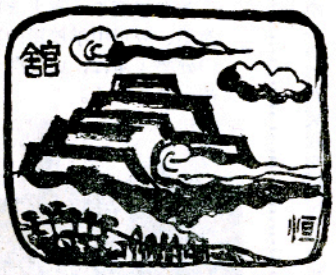
▶読売新聞社編「暮しの図書室」8冊、◀主婦の友生活シリーズ15冊、▶青年演劇脚本シリーズ7冊、▶毎日新聞社編「新しいしつけ」、▶朝日新聞社編「世界の自動車」、▶源氏鶏太著「停年退職」「結婚の条件」、▶山岡荘八著「徳川家康」18巻、▶水上勉著「飢餓海峡」▶橋本忍著「悪の紋章」▶柴田錬三郎著「明治一代男」

郷土史の伝説など (16)

赤坂舘と赤舘の由来

中井恒雄

昔、奥州に戦が盛んになつた頃、当時お城は今見る若松城や白河城の様に石垣を使用せず、自然の山川に手入れした簡単なものであつた。だから普段は城主の住む所は別にあつて、赤坂舘（鮫川村）やあかさかたて赤舘（棚倉町）は荒れ戦の時のみたてこもつたものでした



この様にお城といつても普段には使用しないので立派なへいもなければ、天主閣なども勿論ありません。すわ戦だという時に将兵たちは自分自分が手に持つた楯を山一ぱいに並べ、矢や砲弾をふせいだのでした。その時の楯は皆真赤な色だつたので赤楯山とも呼ばれていたのでした。

後に建物が立つと屋根や門にも真赤な色を染めて赤舘と名を付け有名になつた。

これと共に赤色を使用したお城に本村の赤坂舘がある。赤坂舘は棚倉の赤舘に比べて坂また坂の多い山奥にあるというので赤坂舘と名ずけられたという。

（郷土史家）

国保の窓

新しい年の課題

ここに新な年を迎え、今年もまた笑顔で明るい生活を営むために、みんなが健康に留意することを、新しい年の課題としてまずかかげましょう。

どなたも健康でしかも元気で働き、平和な清らかな住みよい社会を造りたいということは、どこでも誰でもが共通した願いであります。この願いをかなえるには、「病気の予防と早期発見、早期治療」が最も大切な事柄です。

けがや病気には医者にかかるほどではないが、さりとて放つておくのは不安であり、また不快であるといつた、いわゆる軽病の場合、あるいは旅先や夜間急に発病することがあつて、医師の診察を受けるまでに、ちよつとした応急手当をすることによつて、ある程度治すことも、悪化を防ぐこともできるものです。

このような知識も、新しい年の課題として是非共身につけるよう努めましょう。

（住民課）

議員さんたちの活動

米作減収の対策に

米作減収の実数が一応まとまつたところで、村議会の議員さんたちは、県議会に請願を出されました。

▲農業共済金の早期支払

本村の要請する農業共済金は総額一、二〇〇万円という県下最高の額になるので査定で減らすようなことのないように、しかも早く支払いをされるように特にお願いしたわけです。

▲災害資金の融通

天災融資法による資金や県単の資金を再生産のために融資されるよう要請してあります。

▲木炭の増産助成

米作減収のうめ合せは昔から木炭の増産に依存しました今年も原木資材の増加払下げや、原木購入資金の融通、炭がま構築の助成、炭切機の購入助成などを願い出ました。

▲臨時賃金収入

救農土木事を要請しているわけですが、県も県下を通ずる大災害でないため予算がとれず、現在予定の県道、林道事業などになるべく多く地元の被害者を採用する条件をつけるということです。

その他生活保護の拡大などキメの細かい対策を強く要望してあります。

あとがき

ふるさとに寄せる郷土出身者の皆さん方の、とり残され忘れられようとしている農山村に寄せる御厚意が身にしみ原稿の編集に夜のふけるのも忘れ私たち郷土に残つたものの責務を改めて感じさせられました。

比較的に農業の技術水準が高いと言われた本村も悪天候には勝てず、今さらながら地域性を痛切に感じさせられた昨年でした、本年は高冷地帯の農山村の進むべき道をジツクリ考えてみたいものです。

編集子もようやく健康を回復し本年は大いに頑張つてみたい覚悟ですので宜しくお願い致します。

（鈴木）

◀今月の納税▶

村県民税第3期分です
納期1月25日まで
38年度最後の納税です 期日までに
完納下さるよう お願いします